

【2025 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 リーディング・ライティング		選択必修	1	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon	水曜日 14:30-17:30		
授業の目的・概要	<p>目的: 本授業では、英文の基本構造を復習し、英文の理解と正確で明確な文章を書く力を養うことを目的とする。基礎文法を再確認しながら、20 語程度の文を正しく構築し、意味の通じる英文を作成できるようになることを目指す。また、文法ミスを減らし、英語の語順や表現に慣れることで、より自然な英文を書く力を身につける。</p> <p>概要: 授業では、英語の基本的な品詞 (名詞、動詞、形容詞、副詞など) を整理し、文の要素 (主語、述語、目的語、補語、修飾語) の理解を深める。基本的な時制の使い方、肯定文・否定文・疑問文の作り方、接続詞を用いた文の結びつけ方などを学習し、正しい文の構築方法を習得する。授業では演習を多く取り入れ、実際に英文を書く練習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	雑誌、新聞、Web 等を使い日ごろから英文を読む機会を増やすよう心がけること。自分にとって興味、関心のあるものや楽しめるものから始めることを推奨する。				
教科書	なし				
参考書	和英辞典・英和辞典				
外部教材	プリント配布する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	英文の主語、動詞、目的語、補語、修飾語のそれぞれを見分けることができる。			HSU(2)	
②	英文の名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞のそれぞれを見分けることができる。			HSU(2)	
③	日本語の文章を正確に英語に訳すことができる。			HSU(2)	
④	文法的な間違いなく、20 単語以上の英文を書くことができる。			HSU(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、シラバス説明、学習の目標を確認する。	講義	シラバスを確認し、学習計画を立てる	0.5	
2	名詞と代名詞の種類を学び、適切に使用する方法を練習する。	講義・演習	名詞・代名詞を使った短文を作成する	0.5	
3	動詞の種類 (動作動詞・状態動詞・助動詞) と 5 つの動詞の形を学習する。	講義・演習	適切な動詞形を用いた文を作成する	0.5	
4	形容詞と副詞の役割を学び、比較表現の使用法を練習する。	講義・演習	比較級・最上級を使った短文を作成する	1	
5	前置詞と接続詞の違いを理解し、文の関係を表現する練習を行う。	講義・演習	前置詞を使った短文を作成し、意味の違いを確認する (1)	1	
6	日本語と英語の文法の違いを学び、よくある間違いを修正する練習を行う。	講義・演習	語順や主語の省略などの誤りを修正する演習	0.5	
7	文の構造 (SV、SVO、SVC など) を学び、基本的な文型を理解する。	講義・演習	各文型の例文を作成する	1	
8	肯定文・否定文・疑問文の構成を学習し、適切な表現を練習する。	講義・演習	肯定文を否定文・疑問文に書き換える練習	0.5	
9	時制の一致を学び、現在・過去・未来の時制を正しく使う練習を行う。	講義・演習	時制を変えて文を書き換える	1	
10	進行形、受動態、完了形の基本を学び、適切に使用する練習を行う。	講義・演習	進行形・受動態を使った短文を作成する	1	
11	修飾語 (形容詞・副詞・前置詞句) を用いて、詳細な情報を加える方法を学ぶ。	講義・演習	修飾語を加えて文をより具体的にする演習	1.5	
12	等位接続詞 (FANBOYS) を学び、簡単な複文を作成する練習を行う。	講義・演習	接続詞を使って 2 つの文を結ぶ練習	1.5	
13	従属接続詞を学び、複雑な文を作成する練習を行う。	講義・演習	従属接続詞を使って短文を組み合わせる	1.5	

【2025 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

14	従属節（関係詞節・名詞節）を学び、文をさらに発展させる練習を行う。	講義・演習	従属節を使った文を作成する	1.5			
15	総復習と最終試験対策を行い、学習した文法・ライティングスキルを確認する。	講義・演習	期末試験に向けた復習	1.5			
試	評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	15	0	0	0	0	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各単元終了の翌週には、クラス内で翻訳小テストを実施し（計6回）、受講生の理解度を評価する。学期末には筆記試験を行い、学期中に学習した内容を総合的に評価する。これは総合評価の100%を占める。内訳は、翻訳小テスト60%、学期末試験40%。			パラグラフの評価と添削	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
そ の 他	この授業では6回の小テストと期末テストが実施されるため授業への出席、参加が重要となる。授業中のスマートフォンやアプリの使用は認めない。自分で英文を作成すること自己の成長と理解につながる。学生の理解度によって授業の進行速度や内容に変更が生じる場合がある。尚、この授業の定員は30名とする。						